

2019年（平成31年）1月16日

輸送動向について（平成30年度第3－四半期）

1. 輸送概況

第3－四半期は、平成30年7月豪雨、10月の台風24号・25号接近、12月の函館線・道南いさりび鉄道線での輸送障害の影響等により、全体で高速貨1,040本、専貨2本が運休した（前年同期間は、高速貨403本、専貨18本が運休）。平成30年7月豪雨の影響により不通となっていた山陽線は、10月13日に運転再開となり、復旧までの間トラックによる代行輸送のほか伯備線・山陰線・山口線を経由した代行輸送を実施した。

コンテナは、農産品・青果物が夏季の天候不良に伴って北海道産の出荷が低調に推移した。また山陽線が長期に亘り不通となった影響により、中国・九州地区との食料工業品、積合せ貨物、紙・パルプ、化学工業品、化学薬品等の輸送が前年を大きく下回った。その結果、コンテナ全体では前年比94.6%となった。

車扱は、石油が秋冬需要期に入ったものの気温が高く推移したことから灯油を中心に低調な荷動きとなった。車扱全体では前年比96.2%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比95.1%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	3－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,628	5,947	94.6%
車扱	2,451	2,549	96.2%
合計	8,080	8,496	95.1%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	611	648	-37	94.3%
	化学工業品	492	541	-49	90.9%
	化学薬品	366	394	-28	92.8%
	食料工業品	919	970	-51	94.8%
	紙・パルプ	742	789	-47	94.0%
	他工業品	388	403	-15	96.2%
	積合せ貨物	744	766	-22	97.1%
	自動車部品	212	220	-8	96.4%
	家電・情報機器	110	109	1	100.9%
	エコ関連物資	119	128	-9	93.2%
	その他	924	977	-53	94.6%
	コンテナ計	5,628	5,947	-319	94.6%
車扱	石油	1,692	1,775	-83	95.3%
	セメント・石灰石	370	351	19	105.5%
	車両	238	243	-5	98.3%
	その他	151	181	-30	83.8%
	車扱計	2,451	2,549	-98	96.2%
合計	合計	8,080	8,496	-416	95.1%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）